

| 作目名 | 質問 | 回答 | 参考情報 |
|-----|--|---|------|
| 共通 | 園地が浸水した場合どのような影響が考えられますか。 | 湛水すると根が損傷するため、葉の萎凋、落葉、樹勢低下等が発生します。程度に応じて、摘果し、着果負担を軽くする必要があります（場合によっては全摘果も検討）。冬季の剪定は強めにし、樹勢回復を図ります。 | |
| | 樹が水没した場合どのような影響が考えられますか。 | 水没した部分の葉や果実は腐敗し、落葉、落果する可能性が高いため、摘果することになります。軽症とみられる場合は、殺菌剤で対応します。 | |
| | 樹が倒伏した場合はどうしたらよいですか。 | 樹が倒伏した場合は、可能な限り根を痛めないように樹を起こし、根元に土を寄せます。状況によっては引き起こしはせずに、傾いたまま、主枝の更新で対応します。断根被害が甚だしい場合は改植の検討が必要です。 | |
| | 枝が折れた場合はどうしたらよいですか。 | 枝折れした場合は切り戻しを行い、切断面にトップジンMペースト等のゆ合剤を塗布します。軽い股裂けの場合は、ひも等で結束して傷口に癒合剤を塗布し、樹勢回復を図ります。 | |
| | 今後、高温と乾燥が続いた場合、どのような影響が考えられますか。 | 湛水等により根が被害を受けていると、土壌が乾燥した時に樹が水ストレスを受けやすくなるので、早めの灌水等で対応する必要があります。また根が傷んで落葉した場合は、果実が日焼けを受けやすくなります。これから仕上げ摘果を行う場合は樹冠内部の果実を残すなどの対応が考えられる。甚だしく落葉した場合は主幹・亜主枝の日焼けが発生しやすくなるので、白塗剤を塗布するか、資材を巻くなどの対応が必要となる。 | |
| | 水害により園内の土壌が流され、根が露出していますが、どのような対応がありますか。 | 根が露出している状況では、なるべく早く客土を行い根の乾燥を防ぐことが重要です。応急的には、シートやマルチで覆って根の乾燥を防ぎます。倒伏した樹がある場合は、早期に引き起こし、支柱等に固定します。 | |
| | 園地に土砂が流入して埋まっていますが、どうしたら良いですか。 | 樹勢の低下を防止のために流入・堆積した土砂は可能な限り早急に除去するようにします。園内全体の土砂を取り除くことができれば、樹冠下部だけでも取り除くようにします。その際、降雨時に水が溜まらないよう排水路を作っておくとよいでしょう。できるだけ土砂を除去して、ロータリー耕等で0-10cmを混和することも通気性を確保する上で有効です。 | |
| | 流入した土砂の性質により、樹体への影響は違いますか。 | 通気性や排水性の良い砂質土、礫が流入した場合、樹体への影響は少ないと考えられます。粘土質の土壌が堆積して土壌の通気性が悪くなった場合は、樹体への影響が懸念されます。できるだけ土砂を除去して、ロータリー耕等で0-10cmを混和することも通気性を確保する上で有効です。 | |
| | 樹勢が低下した場合に対処する方法がありますか。 | 地下部の環境が悪化していると思われます。排水対策並びに、気相を増やすような土壌改良が必要です。ロータリー耕等で0-10cmを混和することも通気性を確保する上で有効です。地下部が弱っているときには地上部と地下部のバランスが悪くなっているため、地上部の枝を適度に切除し、摘果によって着果負担を少なくします。その上で土壌改良を行います。その後、葉色が薄いようであれば、窒素成分（尿素0.2%など）を含む液肥の葉面散布を行います。 | |
| | 葉が巻いて樹体が乾いているような状況がみられるが、対応方法はありますか。 | 葉が巻いているのは、根の吸水能、枝の通水機能が低下して葉の蒸散に対して水の供給が不足しているためと考えられます。軽度の場合、雨がやんだ2、3日後には回復しますが、もし回復しない場合は、樹の過剰な乾燥を防ぐために傷んだ枝を中心に剪定・除去して蒸散を抑制するとともに、摘果により着果量を調節する必要があります。 | |
| | 崩壊した法面は、どのように対処するのが良いでしょうか。 | 崩壊した石垣や法面は、崩壊が進行して二次被害が発生しないように土のうを積んで補強することが必要です。 | |